

ページ	新	旧
38	<p>教育センター</p> <p>各中学校のさわやか相談室等と連携し、学業・生活や不登校についての相談を受け、その解消に努めています。電話や面接相談等、相談の充実を図っています。さらに児童福祉課や児童相談所と連携し、早期相談、早期解決ができる教育相談体制を構築しています。</p> <p>教育センター中心に、各中学校のさわやか相談室等との連携を一層推進し、児童・生徒の自立・集団生活への適応を高め、学校復帰、学習不安の解消を図ります。また、学校・家庭・関係機関との連携をさらに深め、教員・保護者の児童生徒理解等を高める支援を進めます。</p>	<p>教育相談室</p> <p>各中学校のさわやか相談室等と連携し、学業・生活や不登校についての相談を受け、その解消に努めています。電話や面接相談等、相談の充実を図っています。さらに児童福祉課や児童相談所と連携し、早期相談、早期解決ができる教育相談体制を構築しています。</p> <p>教育相談室中心に、各中学校のさわやか相談室等との連携を一層推進し、児童・生徒の自立・集団生活への適応を高め、学校復帰、学習不安の解消を図ります。また、学校・家庭・関係機関との連携をさらに深め、教員・保護者の児童生徒理解等を高める支援を進めます。</p>
44	<p>母子健康手帳の交付</p> <p>妊産婦の健康を保持し、正常な分娩と適切な育児が行われるように、母子健康手帳と助成券(妊婦一般健康診査等)を交付します(配布場所は保健センター・市民課・塚越連絡室)。マタニティキーホルダーを全妊婦に配布しています。<u>また、希望者には父子手帳の配布をしています。</u>今後事業を継続していきます。</p>	<p>母子健康手帳の交付</p> <p>妊産婦の健康を保持し、正常な分娩と適切な育児が行われるように、母子健康手帳と助成券(妊婦一般健康診査等)を交付します(配布場所は保健センター・市民課・塚越連絡室)。マタニティキーホルダーを全妊婦に配布しています。今後事業を継続していきます。</p>
45	<p>予防接種事業</p> <p>予防接種法に基づき、<u>ヒブ・小児用肺炎球菌・B型肝炎・四種混合・BCG・麻疹風疹混合・水痘・日本脳炎・二種混合・子宮頸がん予防ワクチン等の予防接種を実施しています。</u> <u>予防接種法の改正が行われる場合は、速やかに接種できるようにすすめます。</u></p>	<p>予防接種事業</p> <p>予防接種法に基づき、<u>BCG・ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合・日本脳炎・麻疹風疹混合・水痘・二種混合・子宮頸がん予防ワクチン等の予防接種を実施しています。</u> <u>予防接種法の改正が行われる予定もあるので、今後は法の改正に基づき内容を変えていきます。</u></p>

48	豊かな心の育成(教育における福祉活動やボランティア活動の取り入れ・中学生ワーキングウィーク)	
	<p>教員の資質向上のために、埼玉県教育局南部教育事務所と連携し、教育支援学校訪問を行い、道徳授業等の指導方法の工夫・改善を行っています。また、中学生ワーキングウィーク事業を実施し、中学生の職場体験をとおして、社会性を養うとともに、自立心を育てていきます。さらに、家庭・学校・地域ふれあい事業を実施し、地域の教育力を生かした講演会を実施しています。この他、総合的な学習の時間などをはじめとする様々な教育活動のなかで、福祉活動やボランティア活動などを積極的に取り入れ、豊かな心の育成を図っています。</p> <p>職場体験やボランティア活動が、単なる「体験及び活動」に陥ることへの配慮が必要です。事前・事後における児童生徒個々の体験等への振り返りを通して、より深い認識と、意欲の涵養が図られるからです。これらの事業に対する協力事業所の発掘及び実施時期など、これまで以上に「意義のある体験・活動」への充実・発展を図ります。</p>	<p>教員の資質向上のために、埼玉県教育局南部教育事務所と連携し、教育支援学校訪問を行い、道徳授業等の指導方法の工夫・改善を行っています。また、中学生ワーキングウィーク事業を実施し、中学生の職場体験をとおして、社会性を養うとともに、自立心を育てていきます。さらに、家庭・学校・地域ふれあい事業を実施し、地域の教育力を生かした講演会を実施しています。この他、総合的な学習の時間などをはじめとする様々な教育活動のなかで、福祉活動やボランティア活動などを積極的に取り入れ、豊かな心の育成を図っています。</p> <p>職場体験やボランティア活動が、単なる「体験及び活動」に陥ることへの配慮が必要です。事前・事後における児童生徒個々の体験等への振り返りを通して、より深い認識と、意欲の涵養が図られるからです。これらの事業に対する協力事業所の発掘及び実施時期など、これまで以上に「意義のある体験・活動」への充実・発展を図ります。</p>
50	図書の団体貸出事業	
	<p>学校教育の場で読書に親しみ、すこやかな児童の心を育てる目的で、小学校7校全クラスに各40冊、中学校は年度ごと(一・二中は学校図書室に200冊、東中は1年生各クラスに40冊)に本を貸し出しています。</p> <p>学校図書館との連携を取り合い、さらに、充実する必要があります。子どもたちの要望の把握とそれに対応する貸し出しのルールを確立します。</p> <p>読んでほしい「読書リスト」の拡充を図ります。</p>	<p>学校教育の場で読書に親しみ、すこやかな児童の心を育てる目的で、小学校7校全クラスに、各40冊の本を学期ごとに貸し出しています。学校図書館との連携を取り合い、さらに、充実する必要があります。子どもたちの要望の把握とそれに対応する貸し出しのルールを確立します。</p> <p>読んでほしい「読書リスト」の拡充を図ります。</p>
59	被害に遭った子どもの保護の推進	
	<p>教育センターを中心に、各中学校のさわやか相談室等と連携を図り、教育相談員、さわやか相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が専門性を生かして、児童生徒の心のケアに当たっています。また、教育センターにおいては、電話や面接による教育相談等、相談の充実を図っています。さらに、児童福祉課や児童相談所と連携した児童虐待ネットワークを活用し、早期相談、早期解決ができる教育相談体制を構築しています。</p> <p>学校教育においては、警察や児童相談所、医療機関等をはじめとする専門機関とさらに緊密な連携を図ります。</p>	<p>教育相談室を中心に、各中学校のさわやか相談室等と連携を図り、教育相談員、さわやか相談員、スクールカウンセラー等が専門性を生かして、児童生徒の心のケアに当たっています。また、教育相談室においては、電話や面接による教育相談等、相談の充実を図っています。さらに、児童福祉課や児童相談所と連携した児童虐待ネットワークを活用し、早期相談、早期解決ができる教育相談体制を構築しています。</p> <p>学校教育においては、警察や児童相談所、医療機関等をはじめとする専門機関とさらに緊密な連携を図ります。また、小学校にも中学校同様相談員をおき、心のケアを一層推進します。</p>